

大分県竹田市における「通り名で道案内」の取り組み

大分県竹田市内の中心部には、現在でも城下町の風情が多く残されています。

観光では、岡城跡、武家屋敷、瀧廉太郎記念館などの史跡や文化財が観光資源となっています。

このようななか、竹田市、竹田市観光ツーリズム協会及びボランティアガイド委員会が中心となり、平成20年度から「通り名」による道案内の導入について検討を開始し、観光客に竹田市内のまちあるきを楽しんでもらおうと、平成22年度に案内標を設置、23年度に案内標と対応した観光マップを作成しているところです。

竹田市の通り名で道案内の取り組みの特徴として、城下町の風情を損なわないよう、案内標には「街なか道標」と称した石柱を全20の通りの要所に設置しているところです。



通り名表示設置位置図

※下図をクリックすると拡大図面が表示されます

